

## 令和2年度第1回 聖籠町総合計画審議会 議事要旨

日 時 令和2年8月3日（月）10：00～12：00  
場 所 聖籠町役場3階 大会議室  
出席委員 鷺見委員（会長）、佐藤委員（副会長）、横井委員、萩原委員、手嶋委員、  
臼井委員、樋口委員、木戸委員、斉藤委員、本田委員、磯部委員、阿部委員、  
金山委員、榎本委員、安尻委員、石坂委員、鈴木委員、小田委員、宮下委員、  
本間（栄）委員、小黑委員、神田委員、石橋委員、小林委員、本間（敬）委員  
聖籠町 西脇町長、高松副町長  
全体事務局 高橋課長、小林課長補佐、高橋主事、横山主事、大久保主事  
部会事務局 安心安全部会事務局、福祉部会事務局、教育文化部会事務局、産業観光部会事  
務局、行財政部会事務局

### 次 第：

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 町長あいさつ
- 4 委員紹介
- 5 会長及び副会長の選任
- 6 議事
  - (1) 第5次聖籠町総合計画の策定方針について
  - (2) 第4次聖籠町総合計画について
  - (3) まちづくりアンケートの結果について
  - (4) 会議の進め方及び今後スケジュールについて
- 7 部会の設置及び部会長等の選任
- 8 閉会

---

### 6 議事

#### (1) 第5次聖籠町総合計画の策定方針について

事務局 資料1に沿って説明

委 員 町民アンケートの回答状況が38.9%ということで、少し低いと思  
う。これが今後の各部会によって計画に反映されるのであれば、今後  
アンケートの方法を変えて、回収率を上げていく必要がある。問題点  
がどこにあって、どう変えていけば良いのか見えてこない。部会で反  
映されるのか心配である。

事務局 回答率が38.9%ということで、40%を目安にと言われるが、そこ  
は少し下回った。ただ一般的に回答数が500を超えると反映できると  
されているので、内容としては使えると思う。去年3回ほどアンケー

トを取ったが、だいたい回答率 40%前後ということで、特に若い方の回答率が悪い。回答率を上げるために、インターネットなどオンラインでの回答を検討して、皆さんの回答しやすくなるようインセンティブなど検討したい。

**委 員** 　他の自治体では、計画策定のプロセスの中で、住民懇談会を各地区で行ったり、子どもワークショップを開催するなど、広く市民・町民の声を聞くような機会を設けて、アンケートとは違った方法で情報を集めて、町民の肌感に合わせた形でのリアリティーを高める総合計画の策定に力を入れている。そういった考えはあるか。

**事務局** 　前回計画策定時はワークショップや住民懇談会などを開催した。今回は、このコロナ禍で時間が押していて、人が集まるのも難しいことから、実施は考えていない。

**会 長** 　策定に際して、広い年齢層に渡って、意見を吸収したうえで計画を策定することは非常に重要なこと。

**委 員** 　資料1の4ページに策定の基本的視点として、聖籠町に「生まれて良かった 住んで良かった」という目標が掲げられているが、この目標の測定の指標は、これまでの第4次総合計画ではあったか。

**事務局** 　アンケートでこういった質問項目はなかったが、「これからも住み続けたい」といった項目で満足度調査を行っていた。現段階でこの満足度を示すような指針はない。

**委 員** 　目標を立てるうえで、どういう指標をもって測定するかという、最後の評価の部分までを考えて目標を立てなければ、あいまいなものになってしまう。今回はそこも併せて考えると良い。

**委 員** 　4回の部会と5回の審議会で、今後10年の指標を決めるということで大きな責任を感じるが、今までも10年計画を立てるときには前年度の1年間で会議を開いて10年を見据えて話しをしていたのか。10年を見据えたときに1年度だけで考えていくべきなのか。

**事務局** 　前は2年間を設けていた。審議会は10回程度行い、部会の方を時間を長くにとって、ワークショップなどもしていた。今回は、昨年度の総合戦略会議との整合性をとる必要もあって、スタートが遅れ、そこにコロナ禍でスケジュールが圧縮されてしまった。

**副町長** 　前回までは計画を作るにあたって、ほとんど白紙のベースから作っていく状態で、委員の皆さまには非常に苦労いただいた。今回はこれだけの回数、期間でお願いしたいということもあり、ある程度事務局の方でたたき台を示して、それについて委員の皆さまから議論していただく内容で考えている。皆さんの知見やアンケートの結果などを踏まえて、自由に案をたたいて作っていただきたい。

**会 長** 　委員の方からどんどん新しい意見を出してもらうことで、いい計

画ができると思う。

- 事務局** 資料2に沿って説明
- 会長** 将来像が5つ、基本的な柱ということで説明いただいたが、第5次の新しい総合計画でもこの5本の柱は踏襲されるのか。
- 事務局** 10年前に立てたものであり、現在では馴染まないものや部会が分かれている部分もある。前計画の5つの将来像にとらわれず、現状に合ったさまざまな意見を出していただいたうえで、柱の数や体系について、最後に全体調整したい。
- 会長** 部会が柱と対応している訳ではなく、他の部会とまたがるような意見があれば出してもらいたいということか。
- 事務局** そのとおり。子育ての追加など、部会は現状に合わせて分けている。また、後期計画で出てきた、地方創生や人口減少対策もうまく調整していければと思う。
- 委員** 参考資料3に評価の欄があるが、評価の頻度・方法はどのように設けているのか。前期と後期5年単位で計画のスパンが分かれているが、評価をどのように次につないでいくのか、5年間ずっと走り続けるのか、途中で見直しのサイクルを入れるのか。途中経過のところはどのようにして委員の意見を吸い上げているのか。
- 事務局** 頻度は5年に1回で、前計画でいうと、後期計画を作る前に評価をしている。ただ、事務事業評価として、数値目標に対する評価ではないが、毎年事業の評価は行っている。5年計画の、途中見直しはしていない。
- 会長** 前期計画を立てた5年後に後期計画を立てるということで、その際にチェックをしていると。評価の方法、頻度についても、部会・審議会を通じて提案いただくことも可能。PDCAサイクルを重視していくべき。
- 委員** 基本理念についてはそのまま踏襲するのか。
- 事務局** 基本理念についても新しく考える。部会から上がってきた将来像などを踏まえながら最終的なテーマとして基本理念を考えるとしている。
- 委員** 4次の後期計画は令和2年までが計画期間だが、こちらの資料では令和1年末の実績で評価されている。評価は5年に1度ということで、後期計画の5年が終わった時点の評価は公表されるのか。4次の前期計画も5年終わった時点で評価を出して、それが公表されたのか。
- また、4次の後期計画策定の際、評価を出すにあたっての実績の数値が、リアルタイムに取れない指標があった。参考資料3の実績の数

値は全て令和1年度末のものなのか。

**事務局** 4次前期計画の評価結果については、5年終わる前の結果を公表している。その後の結果は公表されていない。後期計画の結果については、今年度末の実績を反映したものを公表したいと考えている。

また、実績の数値については、まだ出ていないものもある。今回はリアルタイムで評価できるような数値設定をして、評価しやすい目標にしたいと考えている。

**事務局** 資料3に沿って説明

**委員** 全体でみて回収率が38.9%。アンケートに出てくる数値と町民の思いというのは、ずいぶんずれてきていると思う。アンケートを土台として検討していくなら、若い方のアンケートの取り方を改めるべき。

**会長** 回答数が少ないこと、年齢層に若干の偏りがあることで、実態が見えていない可能性があるというご指摘。これまでのワークショップや他のアンケートの結果で補えれば。

**事務局** 他のアンケート等について問い合わせいただければ、回答していきたい。

**委員** 部会においてもアンケートの取り方について検討してもらえれば。

**事務局** 資料4に沿って説明

**委員** 部会が5つに分かれているが、これからの議論の中では1つの部会だけで問題が処理できず、他の部会に関連するところが出てくると思う。その場合、このスケジュールにおいてどこで調整を行うか。

**事務局** 合同で部会を開くか、事務局で調整ができるものはしてもいいと思う。内容によっては中間で全体会の開催を検討したい。

**委員** 部会のレベルで柔軟にやりとりできれば。部会に入っている町の職員を通して検討状況が事前に分かればと思う。

(文責 総合計画審議会事務局 事後修正する場合があります。)